

会議結果

会議名	令和7年度第2回西尾市上下水道事業審議会
日時	令和7年8月1日(金) 午後2時から午後3時40分まで
場所	西尾市役所水道庁舎 3階 第2会議室
出席委員	会長 齊藤由里恵、副会長 藤井眞琴、愛染幸雄、木下典子、 糟谷大輔、颯田妙子、勝良一、糟谷朝光
欠席委員	鈴木宏忠
事務局	上下水道部 部長 黒柳慎一 上下水道経営課 課長 鈴木正良、課長補佐 中根綾美 下水道整備課 課長 近藤茂弘、課長補佐 深谷英明 課長補佐 山本明弘 上下水道営業課 課長 伊藤清克、課長補佐 榊原智江 課長補佐 鈴木正義 水道整備課 課長 牧原保志、課長補佐 鳥居正行 課長補佐 鳥居洋樹 株式会社中央設計技術研究所(3名)
傍聴者	
議題	1 開会 2 会長あいさつ 3 審議事項 (1) 適正な下水道使用料について ア：第1回審議会の結果について イ：下水道使用料及び対象経費の推計について ウ：下水道使用料の比較検討について 4 連絡事項

議 題	5 閉会
会議結果	<p>(1) 適正な下水道使用料について 【ア：第1回審議会の結果について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議事項について事務局から説明 質疑応答及び意見 <p>(質疑応答なし)</p> <p>【イ：下水道使用料及び対象経費の推計について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議事項について事務局から説明 質疑応答及び意見 <p>(委員) 水洗化人口が令和8年度まで増加し、令和9年度以降は減少しているが、どのような設定で推計しているのか。</p> <p>(事務局) 令和7年度で下水道整備が概成し、公共下水道への新規接続が見込まれるため、令和8年度までは水洗化人口が増加すると推計しております。一方で、概成後は行政人口の減少に伴って水洗化人口も減少すると推計しております。</p> <p>(委員) 質問一つ目。消費者の感覚では、下水道使用料の改定率よりも1回分の支払額に対する増額幅の方が関心が高いと考える。一般家庭でどの程度支払額が増加するのか教えてほしい。 質問二つ目。調定件数とは何の件数なのか教えてほしい。</p> <p>(事務局) 質問一つ目。本シミュレーションでは一般家庭や一人世帯、五人世帯、商業施設等のモデルケースを設定し、モデルケースごとに1回分の支払額を算定しております。詳細については「ウ：下水道使用料の比較検討について」でご説明させていただきます。 質問二つ目。本市では、下水道使用者に対して2か月に1</p>

会議結果	<p>回の頻度で下水道使用料を請求しており、調定件数はその年間の請求回数の合計を指しています。年間では6回の請求を行うため、調定件数が約30万件であれば、これを6で除した約5万件が下水道を使用されている件数でございます。</p> <p>【ウ：下水道使用料の比較検討について】</p> <ul style="list-style-type: none">・審議事項について事務局から説明 質疑応答及び意見 <p>(委員) 今回の検討ケースの設定において、西尾市として、大口利用者に対して一定の優遇措置を講じる意向はあるのか。</p> <p>(事務局) 大口利用者に対して優遇措置を講じる意向はございませんが、大口利用者に対する負担が過度に増加することによって、事業者が撤退するような事態は避けたいと考えております。</p> <p>(委員) シミュレーションの評価指標について、経営面を評価する指標を省略した理由をもう一度教えてほしい。</p> <p>(事務局) 本シミュレーションでは、すべてのケースにおいて使用料単価を150円/m³とすることを目標に設定しています。そのため、いずれのケースにおいても使用料収入は約50億円、平均改定率は約29%、経費回収率は約96%となり、これらの数値にケース間の差は生じません。</p> <p>したがって、これらの項目は各ケースを比較する際の評価指標としては適さないことから、本評価においては指標から除外しております。</p> <p>(委員) ケース①から⑥の中でどれが最も適切なのかについては、立場や評価の観点によって結論が異なるため、一概に判断することは難しいと感じる。また、ケース⑥については、実際にはこのような計算や運用が現実的ではないような印象も受ける。</p>
------	---

会議結果	<p>今後はどのようにウェイトをかけてシミュレーションを進めていく方針なのか教えてほしい。</p> <p>(事務局)</p> <p>事務局としては、現状から変わりすぎて影響が大きくなりすぎないことに考慮しつつ、基本額をしっかりといただこうとすると、小口利用者の変動率では負担増加が大きく感じられますが、増額金額として小口利用者の方々にもご理解いただけるようにしたいと考えております。</p> <p>(会長)</p> <p>事務局として望ましいと考えるケースがありましたら教えていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>事務局としては、経営の安定性が重要と考えております。その中で、逓増度が現行の7.50より下回るケース⑥が理想的だと考えております。一方で、ケース⑥は小口利用者への影響が大きいため、小口利用者への影響を抑えるよう使用料体系を見直したケース⑥が良いと考えております。なお、今回提示したケースの中から最終的な使用料体系を決定するわけではなく、使用料体系の基本的な形を今回の審議会でご審議いただいた中で、次回審議会にて再度ケースをご提示させていただきます。</p> <p>(委員)</p> <p>事務局から逓増度に関する説明があったが、逓増度から逆算をして使用料体系を設定することはできるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>シミュレーションではケースごとの方針に沿って使用料体系を算定したうえで、逓増度を算定する流れとなります。</p> <p>(委員)</p> <p>現行とケース⑥の逓増度の乖離が大きいため、逓増度の間隔を取ったシミュレーションケースがあっても良いと思う。</p> <p>(会長)</p> <p>逓増度は従量額の最大と最小で算定していますので、どちらかを固定すれば逆算することは可能だと思います。ただ、逆算して使用料体系を設定する中で、同程度の使用料収入を</p>
------	--

会議結果	<p>確保するよう使用料体系を設定するのは難しいと思われ ます。</p> <p>逡増度を下げるケース⑥が一つの目標として掲げられていま すが、現行の体系とは乖離が大きく、改定をした場合市民生 活に混乱を招く可能性があると思いますので、段階的な改定 としてケース①から⑤も考えられるかと思ひます。</p> <p>また、経営の安定性を考慮すると基本額を徴収することも重 要ですが、小口利用者への影響も大きくなるため、そのバラ ンスを考えて委員の皆様からのご意見を頂戴したいと思ひ ます。</p> <p>(委員)</p> <p>下水道事業が良い方向で継続することが前提だと思ひため、 経営の安定性が高く評価されているケース②が良いと思ひ ます。逡増度はあまり考慮していなかったが、ケース⑥の改良版が あれば良いと思ひます。</p> <p>(委員)</p> <p>私は「経営の安定性」と「受益者負担の原則」の2点が重要で あると考える。また、ケース⑥は基本額の増額幅が過大であ り、影響が大きいと考える。よって、私はケース②が良いと思 ひます。</p> <p>(委員)</p> <p>下水道使用料が値上げされると多くのサービスの経費も増大 し、消費者へ転嫁されることになる。エンドユーザーの一般 世帯にとっては下水道使用料が上がり、他の経費も上がるこ とになるため、一般世帯への影響が小さいケース②か③が良 いと思ひます。</p> <p>(委員)</p> <p>ケース①は基本料の値上がりの印象が強い。ケース④と⑤は 将来的な企業誘致を考慮すると望ましくないと思ひます。よ って、私はケース②か③が良いと思ひます。</p> <p>また、181 m³~1,000 m³の水量区分をもう少し細かく刻むこ とにより、収益を改善する余地があるのではないのかと考える。</p> <p>(委員)</p> <p>モデルケースごとの変動率を見ると、ケース②と③は概ね一 律になっており、各モデルケースに対して同じような負担と</p>
------	--

なっているため、良いと思う。

一方で、ケース⑥を目標のモデルケースとして西尾市の折衷案として取り入れると素晴らしい形になると思う。ただし、ケース⑥に近づける場合は小口利用者への影響を抑えて、小口利用者から大口利用者まで概ね均等な変動率となるようにしてほしい。

(委員)

グラフを見るとケース①とケース⑥は大口利用者を優遇しているように見え、ケース④、⑤はしわ寄せを大口利用者に求めているように見える。経営の安定という意味では、ケース②が良いと思う。

(会長)

私もケース②か③が妥当だと感じております。ただ、ケース⑥を目標として常に考えていく必要があるとも考えており、今後の使用料改定を鑑みると、ケース⑥に近づいていくことが必要ではないかと思えます。皆様のご意見をまとめるとケース②が多かったので、こちらを基本として今後の審議を進めて行くということによろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし

(会長)

委員から頂いた 181 m³~1,000 m³の水量区分を細かくするのご意見について、本市の場合は特定の事業者に対してピンポイントな区分になる懸念があるため、水量区分は現行維持とする判断をされているということです。

(会議終了)